

調査年度	平成 24 年度
調査タイトル	平成 24 年度低炭素型国土の形成に関する調査
<p>1 調査の目的と背景</p> <p>国土形成計画（全国計画）において、地球温暖化防止の推進に向け、低炭素社会の構築が重要とされているところである。本調査は低炭素型国土形成の推進に向けて、①広域連携による低炭素型国土形成の取組方策について検討を行うものである。</p> <p>2 調査方法</p> <p>広域連携による低炭素型国土形成の取組方策の検討に関しては、過年度調査に引き続き、米代川流域圏及び斐伊川流域圏をモデルにとして、関係する地方公共団体、学識経験者、エネルギー関係機関、国の地方支分部局等からなる連絡協議会を開催し、圏域において低炭素化に取り組む際の方向性の検討を行う。また、低炭素型国土形成に関する広域連携の取組に関し、自治体等にアンケート調査やヒアリング調査を実施し、低炭素型の地域づくりにおける連携のメリットや課題の検討を行う。</p> <p>3 結果概要</p> <p>米代川流域圏では木質バイオマスと小水力発電に関する研究会を開催し、それぞれの分野の有識者からの講演の後、自治体の取組状況について情報共有をした上で意見交換を行った。また、圏域における取組の現状や今後の方向性等について「低炭素型の国土づくり～米代川流域圏での取組～」としてとりまとめた。斐伊川流域圏では木質バイオマス関連施設の見学会、木質バイオマスに関するワークショップを開催した。また、取組の見える化を図る観点から、パンフレット「木質バイオマスからはじまる持続可能な地域づくり～斐伊川流域圏における低炭素化の取組～」を作成した。</p> <p>さらに、アンケート調査、ヒアリング調査の結果等を踏まえ、低炭素型国土形成のための広域的取組に関する効果・利点、取組の効果を高めるためのポイント等を整理し、「低炭素型国土形成のための広域的取組に向けて」として取りまとめた。</p>	
<p>参考 URL</p> <p>低炭素型国土形成のための広域的取組について</p> <p>http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk3_000039.html</p>	